

主な内容

- 3 キラリ天草人
- 4 指定から70年 守り・つなぐ 雲仙天草国立公園
- 10 天草市合併20周年記念式典
- 11 御所浦恐竜の島博物館特別展 モササウルスと海の古代生物
- 12 いきいき健康
- 13 暮らしの情報
- 26 図書館へ行こう！
- 27 地域おこし協力隊／まちの歯医者さん
- 28 元気☆あまくさっこ／〇〇な人み〜つけた!
- 29 ハッピーバースデー
- 30 宝島のわだい
- 32 市民のひろば
- 34 休日在宅病(医)院／献血日程 水道指定工事店
- 35 お出かけ情報
- 36 令和8年度天草市職員採用試験 (後期日程) 大相撲巡業「天草場所」

天草市公式 SNS

外国人をはじめ、障がい者や高齢者、子どもにも分かりやすい日本語でまとめた概要版 ホームページ

> LINE
 > Facebook
 > Instagram
 > YouTube

SNS一覧

問い合わせ先

本 庁 | 天草市役所 ☎23-1111
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支 所 | 牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111
御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111
栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111
五 和☎32-1111・天 草☎42-1111
河 浦☎76-1111

市長コラム

Mayor's Column



世界に誇れるナショナル
サイクルルート指定へ

「ナショナルサイクルルート」を知っていますか。日本を代表し、世界に誇れるサイクリングルートとして国土交通省が認定する特別な自転車道の制度のことです。安全性・観光性・受入環境など厳しい基準を満たしたルートだけが認められるもので、現在国内で6つのルートが指定されています。これに指定されると、国内外に向けPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進することになります。

今回、牛深港から三角港までの152kmの「あまいち」がノミネートされました。熊本県と天草市、苓北町、上天草市、宇城市が連携して整備を進めており、指定されれば、九州初のルートとなります。

「まずは自分で体験してみよう」と宿も決めず、1人で新幹線に乗って「しまなみ海道（尾道駅から今治駅までの75km）」をレンタサイクルで走ってきました。この体験は、天草の未来を想像する最高の未知との遭遇！必ず選ばれると確信した旅でした。



これまでのコラムは市ホームページ内「市長室」に掲載しています▲

| 人のうごき | | 5月末現在 | |
|--------|-----------------|-----------|-------|
| 5月中の異動 | | ※（ ）内は前月比 | |
| 人 口 | 69,520 人 (94 減) | 出生 | 19 人 |
| 男 | 33,032 人 (42 減) | 死亡 | 114 人 |
| 女 | 36,488 人 (52 減) | 転入 | 104 人 |
| 世帯数 | 35,652 (4 減) | 転出 | 103 人 |

今月の表紙

第41回天草宝島国際トライアスロン大会が開催され、市内外から約700人の鉄人たちが集結しました。スイムでは、激しい水しぶきを上げながら果敢に海に挑む選手の迫力はまさに圧巻。次なるバイク、ランへと過酷なレースに挑むその表情には、限界を超えようとする強い意志が宿っていました。

関連記事を市ホームページトップに掲載。



生まれつつながら
天草の風景から



キラリ天草人

「天草に来て5年経つが、今でもその美しさに感動している」。そう話すのは、翻訳家と水彩画家という二足のわらじで活躍する富山まやさんだ。

東京出身で自然が大好きな富山さんは、以前天草を訪れたとき、海の幸が豊富で景色が素晴らしい天草は「まるで竜宮城のようだ」と感動。先に地域おこし協力隊として天草に移住していた夫のもとに、令和2年に子どもたちと一緒に移住してきた。

本業は翻訳家。オンラインで仕事ができるので、都市部から離れていても大きな支障はないという。

水彩画は描き始めて10年ほど。SNSで自分の描いた絵などを発信している。フォロワーは延べ16万人を超える。最近「スネイル（英語でカタツムリ）メール」といわれる、あえて配達に日数のかかる郵便で、自分の作品を登録者に毎月送る「天草レターズ」という活動を始めた。天草での生活で聞きし、印象に残ったことをつづった手紙は好評だ。他にも、二江の海中で見たヒトデや海藻等を表現した絵を印

刷したポストカードやしおりなど、自然が身近にある生活の中でインスピレーションを受けたものも多く、国内はもちろんフランスにも送っているそう。

移住してきた当時はコロナ禍で、地域の人の関わりがほとんどなかった。「地元の人と仲良くなりた」という思いから、夫に話が来た区長の役を引き受けた。おかげで今までなかった地元の人との交流が生まれ、特に素潜り漁が盛んな二江の漁師さんたちの話はとても興味深く、「天草レターズ」にも活かされているという。

地域活動にも積極的に参加している富山さん。自治公民館での活動や地域の人がたちとの交流を通して、天草の暮らしや地域の課題について学ぶ機会が増えている。「漁師さんの後継者不足や過疎化などの課題について耳にすることも多く、自分に何かできることはないかと日々考えている」と話す。

天草の外から来た彼女だからこそその視点や感性で、これからも天草の美しさや素晴らしさを伝えていく。

富山まやさん（五和町二江）

- 「天草レターズ」の封入物は、全て富山さんの手作り。印刷も試行錯誤しながら行っている
- クマノミの写真を撮るために西海岸の海に潜る富山さん

